

# 虹

(三十四)

8月号

平成22年

7月31日発行

担当者

川添 駿

(暁星2年)

お久しぶりです。うだるような暑さが続いていますね。熱中症や、夏風邪などこの時期の体調管理には十分気を付けてください。

さて、先日都立晴海総合高校で地区大会の申し込みとプログラム決めが行われました。今月号は現段階で決まっている、各校の上演順と各会場のお手伝い校を記載します。

## NEWS

### 『2010年度地区大会 上演順』

\*舞台芸術学院

9/26(日) 公演

9/25(土) リハーサル

1. 日大豊山
2. 立教池袋
3. 都立豊島
4. 明治学院
5. 都立向丘
6. 暁星
7. 都立新宿

\*駒込勸学ホール

10/11(月・休) 公演

1. 都立千早
2. 共立女子
3. 村田女子
4. 城西
5. 大妻
6. 東海大高輪

\*駒込高校勸学ホール

10/10(日) 公演

1. 九段中等教育
2. 郁文館
3. 十文字
4. 戸山
5. 駒込
6. 独協

\*都立晴海総合高校

10/3(日) 公演

1. 京華学園
2. 都立竹早
3. 晴海総合
4. 正則
5. 新宿山吹
6. 六本木

### 『各会場 お手伝い校』

\*舞台芸術学院(9/26) : 戸山、千早、共立女子、正則、竹早、京華

\*都立晴海総合高校(10/3) : 晴海、明治学院、豊山、十文字、東海大、城西、向丘

\*駒込高校①(10/10) : 立教池袋、新宿、村田女子、大妻、新宿山吹、晴海

\*駒込高校②(10/11) : 暁星、九段、郁文館、駒込、独協、六本木、豊島

ここで、お手伝い校の役割について説明します。

地区大会において、このお手伝い校は非常に大きな役割を持ちます。率直に言いますと、『他の人に演劇を観てもらうなら他の人の演劇を観よう!』ということ。色々なお芝居を観ることも演劇部としての活動の一つだと思います。

各校、決められた日にはできるだけたくさんの部員を連れて、他の高校のお芝居を見に行きましょう!

(初日の舞台芸術学院では会場の問題により、各校お手伝いの人数を制限させていただく場合があります)

※地区大会参加校の生徒さんと顧問の先生にお願い  
リハーサル、公演日には中央地区の生徒で組織された地区大会委員がタイムキープ、その他雑務を行います。委員の指示には速やかに従い、本番と特に、リハーサルがスムーズに行えるようご協力ください。

また、大道具の立てこみ（搬入）に関しての注意ですが、各校に与えられた立てこみの時間は15分です。朝一、昼休みに早めに立てこみを開始することは認められません。各校の顧問の先生は注意してください。

## 今月の特集★

### WSの勧め

「自分では一生懸命演技しているつもりでも演出家からは違うと言われる」、  
「演技が上手いってどういうことかよく分からない」

このような疑問や悩みは演劇をやる上では付きものです。今回は皆さんのそうした悩みを解決するための特集です。

## ☆WSとは何か

WS(ワークショップ)は日本語で「体験型講座」を意味します。音楽、科学、陶芸などWSと言っても様々なものがあり、その多くは参加者が経験や作業を披露してスキルを高めることを目的とする傾向があります。

演劇でもそれは例外ではありません。しかし、演劇では何か形あるものを作ることはしないので、必然的

に技術向上に焦点があたります。これから演劇WSの内容について説明しますが、ただ一般的な流れを説明してもつまらないので、僕が先日参加した保谷高校にて行われたWSを体験レポートという形で記述しようと思います。

## ☆WS 「演劇の想像と創造」体験レポート

7月31日、保谷高校におよそ30人もの高校生が集まりました。見知った顔もあれば、その時初めて顔を合わせる人もいました。今回のWSの内容は台本による検討会と演技、テーマは「愛と友情」でした。

具体的には、その場で初めて目にする台本をいただき、黙読をした後、適当にチームと配役を決めて朗読をします。テキストにはリブレの「ゴジラ」を使用しました。その発表を僕たちは観て、講師の方は僕たちの想像力をかきたてるように少しずつ動きと特殊な演出を確認していきます。口だけではなく、時には講師の方も一緒に飛んだり跳ねたりして僕たちに台本を読み解く、ということを教えてくださいました。

講師は小林祐忠さん(劇団離風霊船)と同じ劇団のプロの俳優さん二人、なので当たり前ですが「ゴジラ」の演出は劇団公演の演出と全く同じです。特に今回はご厚意で音響まで本番に使用するものとまったく同じものを使わせていただきました。そうした環境で見知らぬ人と演技をすることができるので普段の練習とは少し意識の違うものを体験することができました。

WSも終盤に差し掛かったころ、プロの俳優さんと「ゴジラ」の一部を使って劇団のゴジラ役の俳優さんと共演させていただけることになりました。

共演できるのは女の子だけということでは僕は観ているだけでしたが、客席よりもっと近く、より作り手に近い感覚でプロの方のお芝居を観ることができました。そしてあの空間にいた誰もが演技において自分に足りないものや自分も演じたい！といった気持ちを共有していたように思います。

WSが終わった後は、講師の方と何でもいので話すことを勧めます。演劇のことで悩みがあるのなら時間が許す限り質問をしてみましょう。きっと自分とは違った切り口から話をしてくださることでしょう。今回のように台本をいただいたり(LONG LONG TIME AGOという本をいただきました)、そこから劇団公演の情報を知り、今まで自分が知らなかった面白い劇を観ることができるとは思いません。

このように、一回のWSで得られるものはたくさんあります。ちなみに今回の参加費は300円でした。他にも無料のWSはたくさんあります。皆さんの高校にも参加者募集のお知らせが来ることがあると思います。是非、積極的に自分から動いて、こうしたチャンネルを利用してほしいと思います。

今月号の虹はいかかでしたか

次号もお楽しみに！！

